

香紙の時代

おせち料理の不知りせが来た

今日で三度目だ あついで中の一冊目だ

来々 どの味も同じふうに着にツギニム

毎年子ち遠いとい評判 と言うのがつて

ハズ 三この店のもろを合つてとぼろ

お大人気のううだ

目を新理加中だ 千ヨシト 甚うわつて

いふらら

知りあひの女話お師主人のあひ 千ヨシト

七賢の瓦罫のけりし 不正油 ちみ集り

千ヨシトトだつたのニと

とんちんかたきりおお 御主人にみ中つしきつた

9 味はわわううんらしい

千ヨシトトに 不潔な人 といふ人

いやしめずらしい 合つておんいと両方の

と思ろが その名は 賢否両方

存心はと 賢い

日本新理の味のおはあひり ちがう

ところで着居を引ちがひ

